

函館市医師会健診検査センター



 函館市田家町5番16号

 0138-43-8800



人材確保・離職防止に関する問題点

慢性的に既存職員の残業が多い。残業によって成立している業務もある。
今までは、退職者が出て募集をかけると比較的早期に補充できたが、
最近では応募が激減の状況。
既存職員の離職防止の為に負荷の軽減を図りたい。



今回講じた措置

残業が常態化しているのは検査部門。
必ず夕方～夜間の検体回収業務があるので、そこを切り出し。
検体回収に付随する仕分け業務は経験と知識が必要なのでその部分は既存職員が担う。
夜間16:00～19:00をパート勤務として新たに新設。



実際どのような措置か

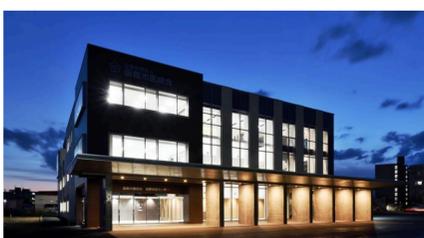
残業人数を大幅に低減。
又、土曜日の回収も既存職員ではなくパート化して、回収業務での既存職員の出社を最低限に抑える。令和6年3月より開始。
軌道に乗れば既存職員の残業による負荷は軽減される。



検体回収後、検査業務に入るので業務が長くなりがち。
残業低減を図りたい。

アドバイザーからの一言

まずは交代制の勤務シフトを作成して体制を整えてはどうか
通常職員と同一出退勤の勤務だと、朝の検体回収に行っている時間は空き時間。
全員出勤している必要はないのでは。
さらに検査の種類によっては専門の知識がなくても従事可能な部分が沢山ありそうなので、シンプルな作業は極力切り出し、パート等に切り替え、シフト勤務と併用して
残業の低減を図るのはどうか



企業Webサイト